

お客様各位

高圧分解器モデルチェンジのお知らせ

平素より弊社製品をご利用いただきありがとうございます。

2022年2月より、高圧分解器として使用している家庭用圧力鍋をモデルチェンジいたしました。

お使いの高圧分解器が新仕様(品番:ZQSA30)の場合は、同梱の使用法の「測り方」が異なりますので本紙をご参照ください。

今後ともご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

2022年2月

高圧分解器 [旧仕様]

(家庭用片手圧力鍋3.0L ワンダーシェフ製)

品番:ZASA30 ご使用の場合



試薬に同梱の使用法
通りに
測定してください。

高圧分解器 [新仕様]

(家庭用片手圧力鍋3.0L ワンダーシェフ製)

品番:ZQSA30 ご使用の場合



フタに圧力切替えのおもりレバー
が付いており、本用途では「140」
に合わせて使用します。

試薬に同梱の使用法とは一部
異なりますので、裏面の「測り方」
通りに測定してください。

また、「蒸しす」(ワンダーシェフ製 ZQS-14)
の代わりに弊社製「加熱台」が付属します。



株式会社 共立理化学研究所

KYORITSU CHEMICAL-CHECK Lab., Corp.

神奈川県横浜市緑区白山1-18-2
ジャーマンインダストリーパーク

TEL: 045-482-6937

測り方

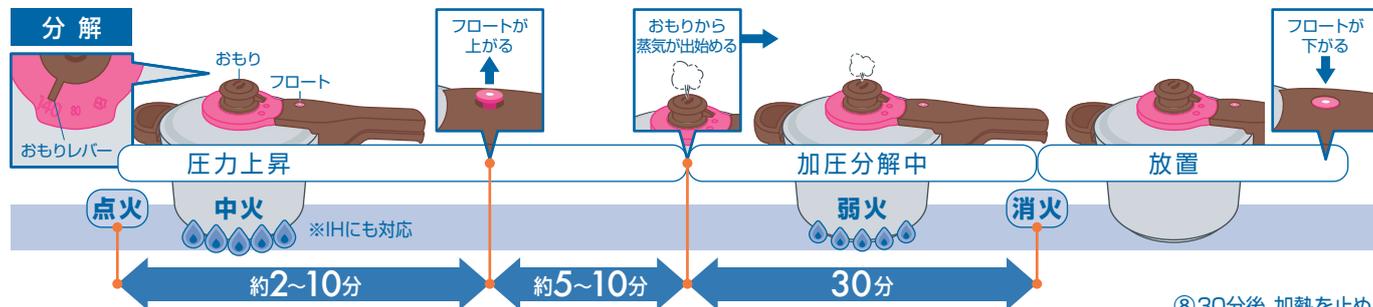
高圧分解器 品番:ZQSA30 で使用の場合

分解準備

- ⑤ 高圧分解器の0.5Lと1.0Lの水位線の間(約0.75L)まで水を加え、加熱台と耐圧瓶が入ったラックを置き、フタを閉めます。



水量が少ないと空焚きになる
おそれがあり大変危険です。



- ⑥ 静かにコンロに置き、おもりレバーを「140」合わせ、加熱を開始します。2~10分程度でフロートが上がります。

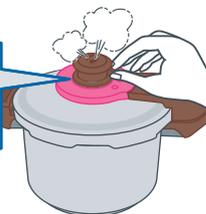
- ⑦ フロートが上がり5~10分程度でおもりから蒸気が出始めたら、蒸気が極少量になるように火力を弱め、30分間加熱を続けます。

- ⑧ 30分後、加熱を止め、フロートが下がるまで放置します。

注意 上記の流れにあてはまらない動きをした場合には、すぐに加熱を止め、冷めるまで放置してください。

分解液の取り出しと冷却

- ⑨ おもりレバーを蒸気抜きマークに合わせます。残った蒸気が完全に抜けたことを確認し、ゆっくりフタを開けます。



洗浄

- ⑩ 高圧分解器の中に残った水は、弱アルカリ性になっていますので、ご注意ください。図のように外して、水道水でよく洗浄してください。耐圧瓶・専用カップ・ポリピペット等は、純水でよく洗浄してください。洗浄後は、よく乾燥させてください。

